

共通分野の調整結果一覧

【調整方針】

自分たちの分科会の範囲の提言であるが、他分科会の考えを加えて完成させる必要がある
自分たちの分科会で作成はしたものの、他分科会の範囲に移行した方がよい
自分たちの分科会の範囲にも、他分科会の範囲にも別記した方がよい

資料 1

(9月25日 第8回)

| 一連 No. | 分科会ごとの 整理番号 | 分科会 | 提言件名 | 関連する他分科会 | | | | | | 調整 の必 要 | 調整日 | 調整 方針 | 調整する内容等 | 調整結果 | |
|-----------|----------------|-----------------|--|----------|-----|-----|----|----|----|---------------|------|--|-----------------|---|---------|
| | | | | みんな | 生・共 | 教・学 | まち | 産業 | 環境 | | | | | 都市像 | 調整結果の内容 |
| 7 | 1-7 | みんなで担う 公共と協働 | 相互コミュニケーションの充実と戦略的情報発信 | | | | | | | | 8/27 | No.59のみ の扱い、掲載する内 容について調整したい | みんなで担う 公共と協働 | 情報発信について、「みんな～」では 通常の事案について記載し、「生活・ 共助」(2-45)では、情報弱者等に特 化した情報発信について取扱うこと とした。 なお、今後の確認として、両分科会 として出来上がったシートについて 情報を交換し合うこととした。 | |
| 19 | 2-5 | 生活・共助 | (全員参加のコミュニティ) 外国人住民と地域住民 の交流 | | | | | | | | 9/10 | 外国人に対する学校教育の提言が されているため、教育分科会と調整 | 生活・共助 | 外国人の子どもへの学校教育にか かわる部分のみ教育学習(3-1)に 移動、シートはそのまま生活共助に 残す。 | |
| 25 | 2-11 | 生活・共助 | (未来をつくる・子ども) 個々の地域に応じた柔軟 で強力な支援体制を | | | | | | | | 9/10 | 子どもに係る提言であり、教育分科 会との議論が必要なため | 生活・共助 | 発達診断について五歳児検診に含 めることについて、方向性は同じで あり合意。ただし、就学時健診との 関連もあり強調したいとの思いから も、生活・共助と教育・学習(3-1、3- 6)で併記 | |
| 26 | 2-12 | 生活・共助 | (未来をつくる・子ども) 子どもの学びの場・遊び の場・やすらぎの場を(1) | | | | | | | | 9/10 | 子どもに係る提言であり、教育分科 会との議論が必要なため | 生活・共助 | 教育・学習との意見交換のみ。シー トへの反映はなし | |
| 27 | 2-13 | 生活・共助 | (未来をつくる・子ども) 子どもの学びの場・遊び の場・やすらぎの場を(2) | | | | | | | | 9/10 | 子どもに係る提言であり、教育分科 会との議論が必要なため | 生活・共助 | 教育・学習との意見交換のみ。シー トへの反映はなし | |
| 28 | 2-14 | 生活・共助 | (未来をつくる・子ども) 子ども中心の生活・社会 環境を | | | | | | | | 9/10 | 子どもに係る提言であり、教育分科 会との議論が必要なため | 生活・共助 | 教育・学習との意見交換のみ。シー トへの反映はなし | |
| 29 | 2-15 | 生活・共助 | (未来を作る・子ども) 家庭でも社会でも子ども自 身が安心できる環境を | | | | | | | | 9/10 | 子どもに係る提言であり、教育分科 会との議論が必要なため | 生活・共助 | 学校教育にかかわる部分を教育・学 習に移行(対象シート未定) | |
| 37 | 2-23 | 生活・共助 | (暮らしやすさ 高齢者・障害者・外国人・男女共 同) 外国人市民の日本語支援、外国籍等の児童の日 本語・学習支援 | | | | | | | | 9/10 | 外国人に対する学校教育の提言が されているため、教育分科会と調整 の必要あり | 生活・共助 | 外国人の子どもへの学校教育にか かわる部分のみ教育学習(3-1)に 移動、シートはそのまま生活共助に 残す。 | |
| 41 | 2-27 | 生活・共助 | (暮らしやすさ 高齢者・障害者・外国人・男女共 同) 男女共同参画と仕事、そしてワークライフバラ ンス | | | | | | | | 9/10 | | 生活・共助 | ・教育・学習分科会が学びの拡大と いう名目で提案しているワークライフ バランス(3-16)は、その波及効果が 市民活動全般の活性化につながる ものであるとの考えから処理番号 として生活共助分科会にも併記す る。 | |

| 一連 No. | 分科会ごとの 整理番号 | 分科会 | 提言件名 | 関連する他分科会 | | | | | | 調整 の必 要 | 調整日 | 調整 方針 | 調整する内容等 | 調整結果 | |
|-----------|----------------|-------|---|----------|-----|-----|----|----|----|---------------|------|--|---------|--|---------|
| | | | | みんな | 生・共 | 教・学 | まち | 産業 | 環境 | | | | | 都市像 | 調整結果の内容 |
| 54 | 2-40 | 生活・共助 | (安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 医療情報・リハビリ・介護機器開発センターの設立 | | | | | | | | 9/11 | 産業分科会の話を読み、提言シートを完成させる。 | 生活・共助 | 産業分科会の健康増進(5-11)とリハビリセンターの内容とで調整し、リハビリセンターでのロボット開発についての記述を打診されたが、産業分科会では検討していないためシートには入れないことで整理。否定するものではなく、生活・共助の検討が進んでいることから生活・共助分科会で記述することとした。 | |
| 57 | 2-43 | 生活・共助 | (安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 市としての雇用支援の職業訓練制度創設 | | | | | | | | 9/11 | 雇用が確保されれば安心という視点で提言されているが、産業分科会へ移行した方が適切ではないか。 | シート削除 | 生活共助分科会では本提言シートを取り下げ、産業分科会のNo95(5-2)のシートに雇用に関する記載を充実させる。 | |
| 59 | 2-45 | 生活・共助 | (安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 市民へ向けた行政サービス(特に社会保障制度)のすみやかな情報公開と情報保障 | | | | | | | | 8/27 | | 生活・共助 | 情報発信について、「みんな〜」(1-7)では通常の事案について記載し、「生活・共助」では、情報弱者等に特化した情報発信について取扱うこととした。 なお、今後の確認として、両分科会として出来上がったシートについて情報を交換し合うこととした。 | |
| 60 | 2-46 | 生活・共助 | (安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 災害対策関連協定の見直し(遠隔地都市との防災相互支援構想) | | | | | | | | 9/10 | 防災関係の提言であり、まちづくり分科会へ移行。 | シート削除 | 防災関係のため、提言シートがまちづくり分科会(4-5、4-7)へ移行することとなった。 | |
| 61 | 2-47 | 生活・共助 | (安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 防犯・治安運動の統一性の強化 | | | | | | | | 9/10 | 防災関係の提言であり、まちづくり分科会へ移行。 | シート削除 | 防災関係のため、提言シートがまちづくり分科会(4-5、4-7)へ移行することとなった。 | |
| 63 | 3- 1 | 教育・学習 | 学1 一人ひとりを大切に考える教育 | | | | | | | | 9/10 | 8-8五歳児健診を2編(2-37)へ。かつ併記する。 | 教育・学習 | 五歳児検診について生活・共助(2-11)と教育・学習で併記 外国人の子どもへの学校教育についても記載 | |
| 68 | 3- 6 | 教育・学習 | 学6 家庭教育力の向上(生活力と学習力) | | | | | | | | 9/10 | 8-6五歳児健診を2編(2-37)へ。かつ併記する。 | 教育・学習 | 五歳児検診について生活・共助(2-11)と教育・学習で併記 | |
| 72 | 3-10 | 教育・学習 | 生2 生涯学習の環境を整備する | | | | | | | | 8/27 | 8-7をまちづくり(4-3)に情報提供 | 教育・学習 | 「はちバス運行ルート」について。まちづくり分科会(4-3)では学習施設のみならず福祉施設等を含む広範な視点で表現していく必要がある。このため、教育・学習分科会の思いが埋もれてしまう懸念が残るのを回避するため、双方に記載する。 | |

| 一連 No. | 分科会ごとの 整理番号 | 分科会 | 提言件名 | 関連する他分科会 | | | | | | 調整 の必 要 | 調整日 | 調整 方針 | 調整する内容等 | 調整結果 | |
|-----------|----------------|-------|--------------------------------|----------|-----|-----|----|----|----|---------------|------|---|---------|--|---------|
| | | | | みんな | 生・共 | 教・学 | まち | 産業 | 環境 | | | | | 都市像 | 調整結果の内容 |
| 75 | 3-13 | 教育・学習 | 文2 八王子歴史博物館の創設 | | | | | | | | 9/19 | ・具体的に 確認が必要(歴史・文化の拠点をめぐる交通ルートについてなのか、歴史博物館への交通ルートのことか。情報提供のレベルと想定) ・「人目につきやすい観光案内所の設置」について、観光産業の分野から、産業分科会のシートへの記載を希望。 | 教育・学習 | ・「はちバス運行ルート」について。まちづくり分科会(4-3)では学習施設のみならず福祉施設等を含む広範な視点で表現していく必要がある。このため、教育・学習分科会の思いが埋もれてしまう懸念が残るのを回避するため、双方に記載する。 ・「観光案内所」については、産業のNo98(5-5)で触れているが、八王子駅以外への設置については、産業分科会で検討する。 | |
| 76 | 3-14 | 教育・学習 | 文3 伝統文化の継承と新時代の文化の創造 | | | | | | | | 9/19 | ・シートの内容を具体的にする必要あり。 情報提供し、併記する。 ・「市内の歴史上の人物紹介」を観光資源として、産業分科会のシートへの記載を希望。 | 教育・学習 | 産業のNo98(5-5)への記載を産業分科会で検討する。 | |
| 77 | 3-15 | 教育・学習 | 文4 文化交流の推進と協力関係の構築 | | | | | | | | 8/27 | 災害支援は4-5の具体的提案へ情報提供、教育のシートも併記。 | 教育・学習 | 文化交流を通じて、災害時の支援関係を築いていくことは防災の観点(4-5)からも必要なこと。この「交流」と「支援」の連携が重要であることを明確にするため、双方に掲載する。 | |
| 78 | 3-16 | 教育・学習 | 文5 新しい市民文化と芸術を創造する人づくり | | | | | | | | 9/10 | ・生活共助、産業に情報提供(30～50代男性の地域活動による自己実現策) ・「市内企業CSR結成」について、企業のCSR活動を展開するための母体となる組織について施策への落とし込みを検討を希望。 | 教育・学習 | ・教育・学習分科会が学びの拡大という名目で提案しているワークライフバランスは、その波及効果が市民活動全般の活性化につながるものであるとの考えから処理番号として生活共助分科会(2-27)にも併記する。 ・「企業のCSR活動」を展開する母体組織の結成について、シートへの記載が可能か、産業分科会(5-1)で検討する。 | |
| 79 | 3-17 | 教育・学習 | 他1 東日本大震災以後の八王子市防災計画の強化策 | | | | | | | | 8/27 | 4-5、4-7に内容を生かし、教育からは削除 | シート削除 | としてまちづくり分科会に託し、教育からはシートを削除 | |
| 80 | 3-18 | 教育・学習 | 他2 プ 新しい公共と「市民会議」によるフォローアップ | | | | | | | - | | 別途検討 | | | |
| 83 | 4- 3 | まちづくり | 公共交通の利便性の向上 | | | | | | | | 8/27 | | まちづくり | 「はちバス運行ルート」について。まちづくり分科会では学習施設のみならず福祉施設等を含む広範な視点で表現していく必要がある。このため、教育・学習分科会(3-10)の思いが埋もれてしまう懸念が残るのを回避するため、双方に記載する。 | |

| 一連 No. | 分科会ごとの 整理番号 | 分科会 | 提言件名 | 関連する他分科会 | | | | | | 調整 の必 要 | 調整日 | 調整 方針 | 調整する内容等 | 調整結果 | |
|-----------|----------------|-------|-------------------------------------|----------|-----|-----|----|----|----|---------------|--------------|----------|---|-------|--|
| | | | | みんな | 生・共 | 教・学 | まち | 産業 | 環境 | | | | | 都市像 | 調整結果の内容 |
| 85 | 4- 5 | まちづくり | 【安全・安心社会の実現】 防災体制(事態対処体制)の充実 | | | | | | | | 8/27 9/10 | O r | No.60・61・79について考えを受け止める | まちづくり | No.79(3-17)については具体提案1・2について「教育」から削除し、「まちづくり」へ No.60(2-46)・61(2-47)については削除し、内容を「まちづくり分科会」で記載する |
| 87 | 4- 7 | まちづくり | 【安全・安心社会の実現】 災害時の情報共有体制の充実 | | | | | | | | 8/27 9/10 | O r | No.60・61・79について考えを受け止める | まちづくり | No.79(3-17)については具体提案1・2について「教育」から削除し、「まちづくり」へ No.60(2-46)・61(2-47)については削除し、内容を「まちづくり分科会」で記載する |
| 94 | 5- 1 | 産業 | 戦略的産業振興施策と特色ある産業の創出（産業全般） | | | | | | | | 9/19 | | | 産業 | ・教育・学習(3-16)との調整の結果、「企業のCSR活動」を展開する母体組織の結成について、シートへの記載が可能か、産業分科会(5-1)で検討する。 |
| 95 | 5- 2 | 産業 | 基盤産業の活性化（製造業） | | | | | | | | 9/11 | | | 産業 | 生活・共助のNo57(2-43)のシートを削除する代わりにこのシートの雇用の記載内容を充実させる。 |
| 97 | 5- 4 | 産業 | 高尾山登山客の分散化と市内への還流による他の観光地と中心市街地の活性化 | | | | | | | | 9/10 | | 高尾山について調整の必要あり | 産業 | 環境分科会(6-6)との意見交換により、高尾山来山者の分散化・自然保護など、方向性が同じことが確認されたため、それぞれのシートに記載する。高尾山の開発・運営を総合的に行う組織の設置について、産業分科会でも検討する。 |
| 98 | 5- 5 | 産業 | 高尾山以外の観光地や魅力を発掘し、観光と商業の活性化をする。 | | | | | | | | 9/18 | | ・「人目につきやすい観光案内所の設置」について、観光産業の分野から、産業分科会のシートへの記載を希望。(No75) ・「市内の歴史上の人物紹介」を観光資源として、産業分科会のシートへの記載を希望。(No76) | 産業 | ・「観光案内所」については、産業のNo98(5-5)で触れているが、八王子駅以外への設置(3-13)については、産業分科会で検討する。 ・産業のNo98(5-5)への記載を産業分科会で検討する。(3-14) |
| 101 | 5- 8 | 産業 | 森林の多面的機能を活用した地域再生を図る | | | | | | | | 9/10 | | 6-5とは里山の保全・整備というところで重複するため、調整してそれぞれの分科会で完成させる。 | 産業 | 意見交換をして方向性が同じことが確認されたため、それぞれのシートに記載する |
| 104 | 5-11 | 産業 | 健康増進産業で市民が健康に！ | | | | | | | | 9/11 | | 2-40にこのシートの要素を加えられるか。その場合、健診による健康増進を生活共助と産業の切り口から併記する。 | 産業 | 産業分科会の健康増進と2-40リハビリセンターの内容とで調整し、リハビリセンターでのロボット開発についての記述を打診されたが、産業分科会では検討していないためシートには入れないことで整理。否定するものではなく、生活・共助の検討が進んでいることから生活・共助分科会で記述することとした。 |

| 一連 No. | 分科会ごとの 整理番号 | 分科会 | 提言件名 | 関連する他分科会 | | | | | | 調整 の必 要 | 調整日 | 調整 方針 | 調整する内容等 | 調整結果 | |
|-----------|----------------|-----|---------------------------------|----------|-----|-----|----|----|----|---------------|------|--|---------|--|---------|
| | | | | みんな | 生・共 | 教・学 | まち | 産業 | 環境 | | | | | 都市像 | 調整結果の内容 |
| 105 | 5-12 | 産業 | 持続可能な暮らしを支える再生可能エネルギー産業の創出 | | | | | | | | 9/10 | 再生可能エネルギーの利用促進を産業、環境(6-1)の切り口から併記する。 | 産業 | それぞれの視点で作成されているため、環境(6-1)と産業でそれぞれシートを残すこととした。産業のシートは自然エネルギーをどのように産業に結びつけていくか、これからブラッシュアップする予定。 | |
| 106 | 6- 1 | 環境 | 自然エネルギーの活用(早期の実現、実施に向けて) | | | | | | | | 9/10 | 提言内容が5-12と同じ趣旨のため、調整して両分科会でそれぞれ完成させていく | 環境 | それぞれの視点で作成されているため、環境と産業(5-12)でそれぞれシートを残すこととした。産業のシートは自然エネルギーをどのように産業に結びつけていくか、これからブラッシュアップする予定。 | |
| 110 | 6- 5 | 環境 | 里山の保全・活用の推進 | | | | | | | | 9/10 | 5-8とは里山の保全・整備というところで重複するため、調整してそれぞれの分科会で完成させる。 | 環境 | 意見交換をして方向性が同じことが確認されたため、それぞれのシートに記載する | |
| 111 | 6- 6 | 環境 | 高尾山の自然と景観を守る | | | | | | | | 9/10 | 高尾山について調整の必要あり | 環境 | 産業(5-4)意見交換により、高尾山来山者の分散化・自然保護など、方向性が同じことが確認されたため、それぞれのシートに記載する。高尾山の開発・運営を総合的に行う組織の設置について、産業分科会でも検討する。 | |
| 119 | 6-14 | 環境 | 市民の活動力を活かした環境学習 | | | | | | | | 9/18 | 学校教育と生涯教育の視点で取り組む必要があり、教育分科会の話聞き、シートを完成させる。 | 環境 | 意見交換のみ。シートへの反映なし | |
| 121 | 6-16 | 環境 | 八王子らしさを活かした人と地域の育成 | | | | | | | | 9/18 | 3-4とは郷土教育で関連するため、教育分科会の話聞き、提言シートを完成させる | 環境 | 意見交換のみ。シートへの反映なし | |
| 122 | 6-17 | 環境 | 地域の住民と連携した体験重視の環境教育を推進する | | | | | | | | 9/18 | 3-4とは、自然体験や学校は地域コミュニティとしての場で学校教育と生涯教育の視点で取り組む必要があり、教育分科会の話聞き、提言シートを完成させる | 環境 | 意見交換のみ。シートへの反映なし。 | |
| 123 | 6-18 | 環境 | 緑豊かなごみゼロのまちづくり - 市民活動/市民マナー向上 - | | | | | | | | 9/18 | 提言内容のマナー向上に関する事だけ教育分科会に移行したいとの思いがあり、教育分科会と調整の必要ありとした。 | 環境 | 意見交換のみ。シートへの反映なし | |